



「第10回 生活と意識についての国際比較調査」
特別調査「働き方と意識についての調査」
ご協力をお願い

時下 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度 京都大学大学院 教育学研究科 教育社会学講座 岩井八郎研究室では、日本学術振興会から科学研究費補助金を得て、「働き方と意識についての調査」を実施することになりました。実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この「働き方と意識についての調査」は、大阪商業大学 JGSS 研究センターを中心に過去10回継続して実施されてきた「日本版総合的社会調査（略称：JGSS）」の特別調査として、25歳から49歳の皆様を対象に、近年、非常に多様化が進んでいる働き方、暮らし方、考え方を学術的に把握することを目的として実施いたします。

JGSSプロジェクトの過去の調査結果は、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用され、行政機関が発行する各種白書にも掲載されてきました。今回の調査結果についても、さまざまなかたちで社会に還元してまいりたいと考えております。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることはございません。調査の実施を委託しております一般社団法人中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が 2月中旬から4月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいた図書カード(500円分)は、このようなご時勢に突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びと、この文書に目を通していただいた御礼としてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500円分)と調査協力機関のペンセットをご用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2016年2月

[調査企画] 岩井 八郎(京都大学大学院 教育学研究科 教授)

[調査協力] 日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター